

授業評価アンケート（学生対象）

全学FD委員会では、2000年度から学生による授業評価アンケートを試行し、2004年度からは、施行時の設問項目を見直したうえ刷新して本実施とした。2014年度にはそれまでの設問項目と内容の見直し作業を行い、2015年度から改定後の新項目により実施している。

アンケートの結果は担当教員にフィードバックするとともに、学内専用サイトに開示しており、授業の方法や内容等の改善への活用が期待される。

学部	時期	実施科目数		
		2020年度	2021年度	2022年度
薬学部	前期	-	55	53
	後期	44	45	47
歯学部	前期	-	54	54
	後期	39	46	49
看護福祉学部	前期	-	85	86
	後期	92	83	88
心理科学部	前期	-	45	45
	後期	49	45	47
リハビリテーション科学部	前期	-	100	102
	後期	96	93	89
医療技術学部	前期	-	48	50
	後期	38	44	43
計	前期	-	387	390
	後期	358	356	363
大学合計		358	743	753
歯科衛生士専門学校	前期	-	18	20
	後期	21	20	25

授業評価アンケートの結果（過去3か年）

評価：1. 強くそうは思わない 2. そうは思わない 3. どちらともいえない 4. そう思う 5. 強くそう思う

自己評価	2020年度		2021年度		2022年度	
	前期	後期	前期	後期	前期	後期
1 この授業に費やした自己学習時間は、週に1時間未満(1)、1時間以上～3時間未満(2)、3時間以上(3)	-	1.50	1.53	1.60	1.62	1.55
2 自分はこの授業に意欲的に取り組んだ。	-	3.86	3.91	3.98	4.00	3.94
3 この授業を受けるために、シラバスを有効に活用した。	-	3.19	3.36	3.53	3.51	3.54
4 シラバスで求める授業の履修目的を達成できた。	-	3.62	3.68	3.81	3.80	3.81
5 授業により、新しい知識、考え方、技能を修得でき、さらに勉強したくなった。	-	3.93	3.97	4.06	4.05	4.02
授業について						
1 授業はシラバスにそって体系的に行われていた。	-	4.01	4.08	4.18	4.17	4.14
2 教員の情熱が伝わった。	-	4.22	4.27	4.34	4.32	4.28
3 授業での声の聞きやすさ、板書やスライドの文字等の見やすさは適切だった。	-	4.13	4.19	4.24	4.24	4.21
4 授業は、理解しやすい工夫され、わかりやすく進められた。	-	4.12	4.19	4.25	4.24	4.21
5 テキスト、プリント、スライド、IT機器などを適切に利用し、理解に役立った。	-	4.17	4.23	4.29	4.29	4.26
6 教員は、学生の質問（授業時間外を含む）・発言等に適切に対応した。	-	4.16	4.22	4.29	4.28	4.25
7 授業は適切な速さで行われた。	-	4.16	4.20	4.28	4.25	4.23
8 適切に授業外学習（レポート、宿題、自習）などを課した。	-	4.04	4.15	4.16	4.21	4.15
9 学んだ分野や関連する分野への関心が広がる授業であった。	-	4.12	4.17	4.25	4.22	4.20
10 価値のある授業であった。（総合的に良い授業であった。）	-	4.22	4.27	4.33	4.32	4.28
※11と12は教員の自由設問のため割愛						
（全学部平均／自由意見を除く）						